■日漢協トピックス

2025年度 中国医薬保健品進出口商会訪日団 来日

中国医薬保健品進出口商会（以下、医保商会）は、孟　冬平副会長を団長とする41名の訪日団を結成し、10月23日（木）から27日（月）までの交流日程で日本を訪れた。

昨年11月、日漢協の訪中団が杭州市や蘭溪市などを訪れ、5年ぶりに医保商会との再会を果たしており、今回の訪日団は、それに続く交流となる。

【全員で記念写真（東京ドームホテル）】

（交流会終了後）

まず、10月23日に東京ドームホテル（B1Fシンシア）にて、交流会が開催された。会は、小柳 裕和国際委員長の司会のもと、冒頭、中華人民共和国駐日本大使館経済商務処公使の羅 暁梅様よりご挨拶をいただいた。
続いて、日漢協の加藤 照和会長が挨拶の言葉を述べた後、訪日団を代表して医保商会副会長の孟 冬平様より、ご挨拶および取り組み等についてのご説明があった。

【再会を喜ぶ孟副会長と日漢協の幹部】

【司会を務める小柳委員長】

【交流会開会時の様子】

【羅 暁梅公使】

【加藤照和会長】

【孟 冬平副会長】

その後、双方の代表者が各取り組みについて発表を行った。

■ 講演 ①：「『中薬材生産質量管理規範GAP』の中国生産地における浸透状況」
浙江省中薬材産業協会 副会長　呉 華慶 様

■ 講演 ②：「医療保険の給付体系・漢方製剤等の現状」 日漢協 保険薬価委員長　坂上 誠 氏

■ 講演 ③：「2025年度版中国薬典の変化」 医保商会 中薬部主任　于　志斌 様

■ 講演 ④：「漢方・生薬製剤製造の品質管理」 日漢協 技術品質部会長 布施 貴史 氏

■ 講演 ⑤：「直近の中国の生薬輸出入動向」　医保商会 中薬部副主任　柳　燕 様

■ 講演 ⑥：「中国における日本の漢方情報の誤報道紹介」 日漢協 国際委員長　小柳 裕和 氏

【呉　華慶様】

【坂上 誠氏】

【于　志斌様】

【布施 貴史氏】

【柳　燕様】

【小柳 裕和氏】

一連の発表後、加藤会長より総評があり、「GAPの検査に合格した企業の生産拠点が更に増えることで、中国における中薬材の品質レベルが向上するものと期待する。来年、訪中させていただく際には、是非、承認栽培基地を視察させていただきたい」と希望を述べた。
それに対し、孟副会長も賛意を示され、実現に向けて積極的に取り組む姿勢を表明された。

交流会の最後には、孟副会長と加藤会長の間で記念品の交換があり、続いて参加者全員による記念撮影＊がとり行われた。＊記念写真は本記事1ページに掲載

【記念品交換の様子】

その後、場所を移し（B1オーロラの間）、日漢協の主催する歓迎会が開催された。
会は、まず日漢協側から、クラシエ薬品の草柳 徹哉副会長の挨拶があり、歓迎の意を表した。
続いて、中国医薬保健品有限公司 副総経理 呉 昊様よりご挨拶のお言葉をいただいた後、日本製薬団体連合会の宮島 俊彦理事長が乾杯のご発声を行った。

【歓迎会の挨拶をする草柳副会長】

【ご挨拶をする呉 昊様】

【乾杯のご発声をする宮島理事長】

各テーブルでは、グラスを片手に業界関係者同士の活発な情報交換が行われ、親睦を深める姿が多く見受けられ、終始和やかで活気ある会となった。ジェーピーエス製薬の小林 誠二監事による中締めのご挨拶では、昨年の訪中に際し賜ったご厚情への御礼とともに協会活動へのご理解とご支援への感謝が述べられ、最後は一本締めで締めた後、盛況の内に散会となった。

【開宴早々、再会を喜び一気に盛り上がる歓迎会】

【双方の幹部で】

【中締めの一本締めをする小林監事】

2日目の10月24日、訪日団は企業見学の部として、大正製薬大宮工場（さいたま市）の視察を行った。一団は、熱心に各製造工程を見学し、担当者の説明に耳を傾けながら、日本の医薬品製造技術の高さに深い関心を寄せていた。＊製造施設内は撮影禁止

【説明者の話に耳を傾ける訪日団メンバー】

【担当者と談笑するメンバー】

【医保商会から記念品の贈呈】

昼食後、2つ目の見学先であるツムラ茨城工場（茨城県稲敷郡）へ移動し、漢方記念館と工場（生薬倉庫、中央制御室）の見学を行った。漢方記念館では、漢方の歴史や製剤の基礎知識に触れ、参加者は日本の伝統医学に対する理解を深めた。＊生薬倉庫、中央制御室は撮影禁止

【医保商会から記念品の贈呈】

【説明者の話に耳を傾ける訪日団メンバー】

【館内を熱心に観察する一団】

スケジュール3日目となる10月27日、一団は、ロート製薬のマザー工場である上野テクノセンター（三重県伊賀市)を視察した。参加者は、最新鋭の製造設備や高度な品質管理体制および国際基準への対応に深い関心を示し、担当者の説明に熱心に耳を傾けていた。＊製造設備は撮影禁止

【担当者の説明を聞く訪日団メンバー】

【医保商会から記念品の贈呈】

【製造工程のパネルに関心を寄せる一団】

見学を終えた一団は、昼食後、一路大阪に向けて移動し、ホテルモントレ大阪（14階ベルヴェデーレ）で行われた商談会に参加した。
商談会では冒頭、中華人民共和国駐大阪領事館経済商務処参事官の景 春海様より来賓ご挨拶をいただいた。続いて、栃本天海堂の栃本 大輔副会長から中国語による挨拶があった後、医保商会の孟 副会長より今後の両国の展望等についてお話をいただいた。その後、参加企業同士、活発な意見交換や商談が行われ、お互いの理解や人間関係を深める有意義な機会となった。

【景 参事官】

【栃本副会長】

【孟 副会長】

【商談会の様子】

【商談の場面】*

＊ご参加いただいた会員会社：小太郎漢方製薬、小林製薬、栃本天海堂、日本粉末薬品、三国

会終了後は、会場を移し（同7階パルフィ）、全員で記念撮影の後、懇親会が開催された。
会冒頭、日本粉末薬品の桑野 彰一副会長より挨拶があった後、浙江省中薬材産業協会副会長兼秘書長の呉　華慶様よりご丁寧なご挨拶と謝意を賜った。
続いて、日本製薬団体連合会の竹内 幹也国際委員長より来賓のご挨拶をいただいた後、安徽協和成薬業飲片有限公司 董事長の李 素亮様より心温まるお言葉を賜った。
乾杯のご発声は、小太郎漢方製薬の鈴木 一平副会長が務め、その後歓談の時間となった。
双方の参加者は、終始穏やかで和やかな雰囲気の中、互いに笑顔でお酒をくみ交わしながら、交流を深めた。

【桑野副会長】

【呉 副会長】

【懇親会の様子】

【乾杯のご発声を務める
鈴木副会長】

【竹内委員長】

【李董事長】

【歓談を楽しむ参加者】

【白酒で乾杯】

中締めは、小林製薬の
豊田 賀一副会長が挨拶を行い
参加者への感謝の言葉とともに
今後のさらなる連携と発展への
期待を述べ、会を締めくくった。

【中締めをする豊田副会長】

【孟副会長を囲んで】

【全員で記念写真（ホテルモントレ大阪）】

（懇親会開始直前）

3日間にわたる交流は、関係各位の協力のもと、有意義かつ滞りなく進行した。

本会を通じて、日中の連携強化および情報共有の促進が図られ、今後の活動に向けた有益な基盤が築かれたものと考える。次は一年後、中国で再び集う日を心待ちにしたい。“謝謝“